**赤痢発症週別集計**

５月中：６人

6月１日～７日：１２人

８日～１４日：１６人

１５日～２１日：４人

２２日～　　　：１人

**6月２6日現在計３９名**

・患者把握のほとんど（８割）が社会医療センター。自分で受診に来て判明したもの。

・杏林、大和中央、など救急で運ばれ判明したものも若干あり。（大阪城の野営地から救急車で運ばれた３名は３名とも赤痢であった。大阪城の公衆便所はすべて消毒された）

・発症者の中には野宿と簡易宿泊所泊まりを短い期間に繰り返していた事例が２～３あったとのこと。該当するドヤの消毒の他、簡易宿泊所組合を通じて各ドヤに消毒薬を配り消毒を依頼。（消毒の北限は難波のパチンコ屋とのこと）

・患者の中に三角公園の炊き出しの手伝い（ジャガイモの皮むきを手伝った）をした人も含まれている。

・四角公園の炊き出しの会は、検便を実施予定。三角公園の勝ち取る会は今のところ拒否。環境保健局は重ねて依頼の予定。患者の行動範囲で重なる地点が三角・四角公園が圧倒的（炊き出しをしているから当然だが）なので、発生源としての疑いということではなく、安全の確認という意味で検便を行いたい、ということであった。

医療センターでの下痢診察で診察された人数(ちょっと記憶が不確か)

６月１９日：１７人

２２日：１３人

２４日：９人

２６日：６人

何人かは検便をしたがほとんどは投薬のみ。